

平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年2月13日

上場会社名 中日本興業株式会社 上場取引所 名
 コード番号 9643 URL http://www.nakanihonkogyo.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)服部 徹
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 感動創造支援本部副本部長 (氏名)細川 秀樹 (TEL) (052) 551-0274
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	2,926	△4.5	123	△14.4	126	△13.0	82	△50.0
29年3月期第3四半期	3,063	9.1	144	10.3	145	8.1	165	85.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	155.79	—
29年3月期第3四半期	311.41	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	5,360	3,837	71.6
29年3月期	5,088	3,702	72.8

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 3,837百万円 29年3月期 3,702百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
30年3月期	—	30.00	—		
30年3月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,700	△8.5	75	△56.2	78	△55.1	23	—	43.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「(3) 四半期財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

30年3月期3Q	540,000株	29年3月期	540,000株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

30年3月期3Q	9,090株	29年3月期	8,975株
----------	--------	--------	--------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

30年3月期3Q	530,942株	29年3月期3Q	531,057株
----------	----------	----------	----------

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境に改善が見られるとともに、個人消費も一部持ち直しの動きが見られ、景気は、穏やかな回復基調位で推移いたしました。しかしながら、世界経済の不確実性や北朝鮮情勢等、懸念される材料もあり、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような経済環境のもと当社では、お客様目線に立った一層のサービス充実を図り、なおかつスピード感をもって、お客様の感動の創造に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は29億26百万円（前年同期比4.5%減）、営業利益は1億23百万円（前年同期比14.4%減）、経常利益は1億26百万円（前年同期比13.0%減）、四半期純利益は82百万円（前年同期比50.0%減）となりました。

以下、事業別の概況をご報告いたします。

【シネマ事業】

当事業におきましては、7月に「ミッドランドスクエアシネマ2」がオープン2年目となり、名古屋駅前という立地条件とスクリーン数のメリットを活かした番組編成に注力いたしました。

主な上映作品といたしましては、洋画では、「美女と野獣」「パイレーツ・オブ・カリビアン 最後の海賊」「スター・ウォーズ 最後のジェダイ」、邦画では「22年目の告白 私が殺人犯です」「銀魂」「DESTINY 鎌倉ものがたり」、アニメでは、「名探偵コナン から紅の恋歌」「怪盗グルーのミニオン大脱走」等の話題作を上映いたしました。また、映画以外のコンテンツとして、「シネマ歌舞伎」ライブビューイング、人気アイドルによるライブイベント等、様々なジャンルの作品を提供いたしました。

この結果、売上高は24億45百万円（前年同期比7.5%増）、営業利益は1億16百万円（前年同期比13.2%減）となりました。

【リラクゼーション事業】

当事業は地域に密着した運営を心掛け、イベント等も積極敵に実施し、お客様に愛される施設運営に努めてまいりました。しかし、客単価の低下や競合施設の影響を受け厳しい状況で推移いたしました。また愛知県江南市の「松竹温泉 天風の湯」を平成29年1月1日に事業譲渡した影響もあり、売上高は、前年を大きく下回る結果となりました。

この結果、当事業では、売上高は2億45百万円（前年同期比54.5%減）、営業損失は19百万円（前年同期は営業損失16百万円）となりました。

なお、名古屋市中川区の「太平温泉 天風の湯」は経営資源の選択と集中を強化し、今後一層名古屋駅前を核とした事業展開をするため、平成29年12月10日をもって閉店いたしました。

【アド事業】

当事業は、得意分野の映画宣伝関連やサイン工事を中心に営業展開を図り、安定的な収益の維持に努めてまいりました。

この結果、当事業では、売上高は2億34百万円（前年同期比5.4%減）、営業利益は26百万円（前年同期比1.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は53億60百万円となり、前事業年度末に比べ2億71百万円の増加となりました。これは主に流動資産の増加によるものであります。

負債は15億22百万円となり、前事業年度末に比べ1億37百万円の増加となりました。これは主に流動負債の増加によるものであります。

純資産は38億37百万円となり、前事業年度末に比べ1億34百万円の増加となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、平成29年5月11日に公表いたしました業績予想を修正いたしております。詳細につきましては、本日別途開示する「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	883,906	1,377,735
受取手形及び売掛金	211,707	186,214
有価証券	600,000	200,000
商品及び製品	9,089	10,413
前払費用	30,581	30,009
預け金	81,506	53,108
繰延税金資産	13,459	13,459
その他	8,965	277,767
貸倒引当金	△1,705	△1,354
流動資産合計	1,837,511	2,147,353
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,182,897	1,119,264
構築物（純額）	4,306	3,546
機械装置及び運搬具（純額）	181,388	156,596
工具、器具及び備品（純額）	98,378	96,694
土地	634,896	634,896
有形固定資産合計	2,101,866	2,010,998
無形固定資産		
電話加入権	1,147	1,147
ソフトウェア	92,302	68,388
その他	410	378
無形固定資産合計	93,860	69,914
投資その他の資産		
投資有価証券	348,920	470,577
関係会社株式	10,000	10,000
差入保証金	632,866	625,240
長期前払費用	6,861	6,431
繰延税金資産	56,502	19,597
投資その他の資産合計	1,055,149	1,131,845
固定資産合計	3,250,877	3,212,758
資産合計	5,088,389	5,360,112

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	361,857	447,332
1年内返済予定の長期借入金	99,960	60,470
リース債務	88,199	84,175
未払金	2,390	3,730
未払法人税等	78,530	44,336
未払消費税等	5,344	-
未払費用	57,053	60,743
従業員預り金	2,931	3,957
賞与引当金	16,000	7,942
その他	46,664	284,803
流動負債合計	758,931	997,491
固定負債		
長期借入金	33,400	-
リース債務	218,798	166,067
退職給付引当金	60,587	56,609
長期末払金	39,500	35,400
資産除去債務	91,411	96,618
受入保証金	183,084	170,790
固定負債合計	626,781	525,485
負債合計	1,385,713	1,522,977
純資産の部		
株主資本		
資本金	270,000	270,000
資本剰余金		
資本準備金	13	13
資本剰余金合計	13	13
利益剰余金		
利益準備金	67,500	67,500
その他利益剰余金		
配当準備積立金	314,116	282,257
別途積立金	2,380,000	2,380,000
繰越利益剰余金	556,615	639,329
利益剰余金合計	3,318,231	3,369,087
自己株式	△67,863	△69,011
株主資本合計	3,520,382	3,570,089
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	182,293	267,045
評価・換算差額等合計	182,293	267,045
純資産合計	3,702,675	3,837,135
負債純資産合計	5,088,389	5,360,112

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	3,063,527	2,926,200
売上原価	1,535,791	1,520,098
売上総利益	1,527,735	1,406,101
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	39,607	45,001
人件費	437,921	437,004
賞与引当金繰入額	8,190	7,942
退職給付費用	6,064	5,139
減価償却費	206,162	152,919
地代家賃	327,086	310,795
水道光熱費	116,651	99,513
修繕費	5,367	3,344
貸倒引当金繰入額	376	-
その他	235,941	220,883
販売費及び一般管理費合計	1,383,368	1,282,545
営業利益	144,367	123,556
営業外収益		
受取利息	98	53
受取配当金	4,945	5,886
協賛金収入	32,155	-
貸倒引当金戻入額	-	351
その他	2,103	1,411
営業外収益合計	39,304	7,701
営業外費用		
支払利息	735	139
開業費償却	35,813	-
その他	1,564	4,469
営業外費用合計	38,113	4,609
経常利益	145,558	126,649
特別利益		
固定資産売却益	203,195	-
資産除去債務戻入益	-	1,353
特別利益合計	203,195	1,353
特別損失		
固定資産売却損	843	-
固定資産除却損	40,796	4,463
固定資産処分損	65,193	-
リース解約損	-	381
特別損失合計	106,833	4,844
税引前四半期純利益	241,920	123,158
法人税等	76,544	40,444
四半期純利益	165,376	82,713

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

法人税等の納付税額の算定については、当会計年度の税金等調整前当期純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期損益 計算書計上額
	シネマ	リラクゼーション	アド	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,275,499	539,909	248,118	3,063,527	—	3,063,527
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,275,499	539,909	248,118	3,063,527	—	3,063,527
セグメント利益又は損失(△)	134,658	△16,844	26,552	144,367	—	144,367

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期損益 計算書計上額
	シネマ	リラクゼーション	アド	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,445,628	245,858	234,713	2,926,200	—	2,926,200
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,445,628	245,858	234,713	2,926,200	—	2,926,200
セグメント利益又は損失(△)	116,846	△19,483	26,193	123,556	—	123,556

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。